

EMIS (Emergency Medical Information System) 広域災害救急医療情報システム 取り扱いマニュアル

<概要>

EMIS とは国（厚生労働省）が運営している広域災害救急医療情報システム（Emergency Medical Information System）のこと。災害発生時に、各医療機関の情報入力（又は都道府県による代行入力）により、被災した都道府県を越えて各医療機関の被災状況や患者受入状況などの、「災害医療に関わる情報」が共有されている。DPAT に限らず、DMAT 等の災害医療チーム・行政・医療機関等が使用し、災害医療活動は EMIS を中心に実施されている。

<ログイン方法>

インターネットに繋がる端末で「EMIS」と検索
(<https://www.wbs.emis.go.jp/>)

「関係者ログイン」ボタンをクリック

ログイン情報を入力

- 機関コード：所属医療機関のコードを入力
- パスワード：所属医療機関のパスワードを入力
- 所属：「佐賀県」を選択

※各医療機関のコード及びパスワードは、院内の担当者へ確認してください

医療機関向けのメニューが表示される

★スマートフォン、タブレット端末からログインする場合★

ログイン後、一番下の「PC サイト（関係者メニューへ）」を押して PC 版の表示へ切り替える。

「関係者メニューに切り替える」ボタンをクリック

関係者メニューが表示される

<主に使用する機能>

●緊急時入力/詳細入力

「被災医療機関が」被災状況の概要及び詳細を入力する機能

※代行入力可能（但し、権限はDMAT や都道府県担当課、DPAT 事務局等に
限られている）

●医療機関等状況モニター

医療機関等の被災状況を一覧表示し、資源と支援ニーズに関する情報を一
元的に把握できる機能

●救護班登録

出動するDPAT 等がチーム情報を登録する機能

※派遣が決定したら速やかに登録すること

●活動状況入力

出動したDPAT 等がチームの活動状況を入力する機能

●活動状況モニター

DMAT ・救護班等の活動状況を一覧表示し、一元的に把握できる機能

●掲示板

災害医療関係者間で情報を共有する機能（通行止等の交通情報など）